

実施計画兼評価シート(令和元年度事業分)

事業No.70

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	生活困窮者自立支援事業	担当部署	健康福祉部 社会福祉課		
総合計画体系				根拠法令 計画など	生活困窮者自立支援法		
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがいを感じるまちづくり		事業 期間	開始	平成	27 年度
政策(中項目)	1	ひとにやさしく健康で安らげるまち なんと					
(小項目)		低所得者福祉			終期	未定	
施策	6	低所得者福祉の推進					
基本事業	2	低所得者福祉の充実					
<input type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無 <input type="checkbox"/> 次期総合戦略掲載予定の有無 <input checked="" type="checkbox"/> SRP2020該当の有無							
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求 <input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求							

◎事業概要(PLAN)

目的	子どもの学習・生活支援事業を実施し、子どもたちの学力向上に加え、社会性や自立心を育むことにより、「貧困の連鎖」を防止する。		事業 内容 (R1)	1. 子どもの学習・生活支援事業の実施 ①継続して事業を実施する。 ②生活保護受給世帯への制度周知に加え、児童扶養手当、就学援助それぞれの受給世帯へ案内状を送付する。 ③制度への申請があった場合、対象世帯の要件を満たしているか確認を行い、承認(不承認)通知書を作成、送付する。				
実施方針	①子どもの学習・生活支援事業の実施 【対象者】市内の中学生の内、次の条件に当てはまる者とその保護者 ・生活保護受給世帯・ひとり親世帯のうち非課税世帯 ・自立相談支援センターへの相談者が属する世帯 ・児童扶養手当受給世帯・児童養護施設入所者世帯 ・就学援助受給世帯・その他市長が認める世帯			当初からの 変更点				
指標名			平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	児童扶養手当受給世帯、就学援助受給世帯への学習支援事業案内通知の発送	1	1	1	1	1	回
	2	生活保護受給世帯への学習支援事業案内通知の発送	0	2	2	2	2	回
成果指標 <small>対象にどのような効果があったか示す指標</small>	指標名		平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
	学習支援事業参加人数		18	18	40	40	40	人

事業の実施内容推移	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	各年度の実施(予定)内容	①学習支援事業の実施 ②生活保護受給世帯、児童扶養手当受給世帯、就学援助受給世帯への案内状の送付 ③申請があった者への承認(不承認)通知の作成、送付	①学習支援事業の実施 ②生活保護受給世帯、児童扶養手当受給世帯、就学援助受給世帯への案内状の送付 ③申請があった者への承認(不承認)通知の作成、送付	①学習支援事業の実施 ②生活保護受給世帯、児童扶養手当受給世帯、就学援助受給世帯への案内状の送付 ③申請があった者への承認(不承認)通知の作成、送付	継続	継続

事業費推移 (千円)	年度	令和元年度			令和2年度	令和3年度
		当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
	計	19,790	0	19,790	32,853	32,853

事務事業名	生活困窮者自立支援事業
-------	-------------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業実施内容	令和元年度実施内容	①学習支援事業の実施 ②生活保護受給世帯、児童扶養手当受給世帯、就学援助受給世帯への案内状の送付 ③申請があった者への承認(不承認)通知の作成、送付
--------	-----------	--

指標名		平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1 児童扶養手当受給世帯、就学援助受給世帯への学習支援事業案内通知の発送	1	2	1	1	1	回
	2 生活保護受給世帯への学習支援事業案内通知の発送	2	2	2	2	2	回
成果指標 <small>対象にどのような効果があったか示す指標</small>	学習支援事業参加人数	18	29	40	40	40	人
目標達成率(実績/目標)			72.5				%

事業費推移(円)	年度	平成30年度決算	令和元年度決算			
			前年度からの繰越決算額	決算額	令和2年度への繰越額	最終事業費
	計	19,165,481	0	19,257,604	0	19,257,604
財源内訳	国庫支出金	12,425,000	0	12,500,000	0	12,500,000
	県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	使用料・手数料	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	6,740,481	0	6,757,604	0	6,757,604

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況	ほぼ計画どおり	事業全体の進捗状況	計画どおり													
成果指標に対する評価	<table border="1"> <tr> <th>指標名</th> <th colspan="2">学習支援事業参加人数</th> </tr> <tr> <td>目標</td> <td>40</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>29</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>評価</td> <td colspan="2">B:概ね目標を達成できた</td> </tr> </table>	指標名	学習支援事業参加人数		目標	40	人	実績	29	人	評価	B:概ね目標を達成できた		<table border="1"> <tr> <th>成果指標に対する所見</th> </tr> <tr> <td>実際に参加した子どもの反応は概ね良好であり、兄弟や友人を誘うようなこともあったため、参加人数は昨年度から大幅に増加した。</td> </tr> </table>	成果指標に対する所見	実際に参加した子どもの反応は概ね良好であり、兄弟や友人を誘うようなこともあったため、参加人数は昨年度から大幅に増加した。
指標名	学習支援事業参加人数															
目標	40	人														
実績	29	人														
評価	B:概ね目標を達成できた															
成果指標に対する所見																
実際に参加した子どもの反応は概ね良好であり、兄弟や友人を誘うようなこともあったため、参加人数は昨年度から大幅に増加した。																

◎今後の方向性(ACTION)

課題	今までは参加人数の確保が課題であったが、令和元年度は前年度までと比較して参加人数の大幅な増加があった。今後はこの参加人数の水準をいかに維持していくことが課題となる。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容	令和2年度	子どもいきいき課、学校教育課の協力の下、児童扶養手当受給世帯、就学援助受給世帯に対して案内通知を発送する。加えて、生活保護受給世帯の内今年度中学校に入学した子どもがいる世帯や新規申請世帯に対しても、9月、3月に案内通知を発送すると同時に、担当ケースワーカーから積極的な働きかけを行う。
	令和3年度	令和2年度の実施状況に応じて、事業の継続と課題に対する改善策を検討していく。